

桐生市

橋梁長寿命化修繕計画

【概要版】

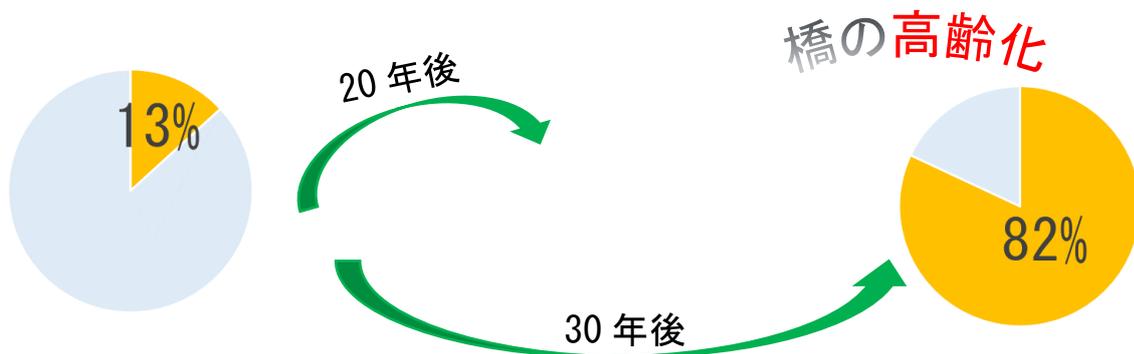
桐生市 都市整備課 土木課

■背景

桐生市は、平成31年1月現在で491橋の橋を管理しています。

この橋の半数近くが20年後には「架設後50年以上が経過する高齢化」を迎えます。**30年後には8割近くの橋梁が高齢化を迎えます**。また、橋のおかれる環境も交通量の増加や車両の大型・重量化により日々厳しい状況となっています。

そこで、橋の長寿命化修繕計画では、従来の「悪くなってから補修する管理」から、「**損傷が小さなうちに計画的に補修を行い、橋の長寿命化を図る管理**」へ移行し、市民の皆様が生活する上で、大切な道路交通の安全性を守っていくことを目的として策定しています。なお、重要な路線に架かる橋梁については、耐震性についても考慮していきます。



桐生市が管理する架設後50年を経過する橋梁の割合

■目的

道路交通の安全性を確保する上で、これまでの事後対症療法的な対応から計画的かつ、予防保全的な対応に転換を図り、**橋梁自体の長寿命化によるコスト縮減を図るとともに**、重要路線については、**耐荷性・耐震性に配慮した長寿命化修繕計画**を策定します。

■対象となる橋梁

桐生市が管理する491橋のうち、**15m以上の橋梁63橋**を対象とします。なお、長寿命化修繕計画においては、**架設年や構造形式の違い**を踏まえた**68橋**（上り・下りの別：3橋、本線・側道橋の別：2橋）として策定します。

■基本方針

桐生市における橋梁管理の目標を満たすための基本方針を以下のとおり定めます。

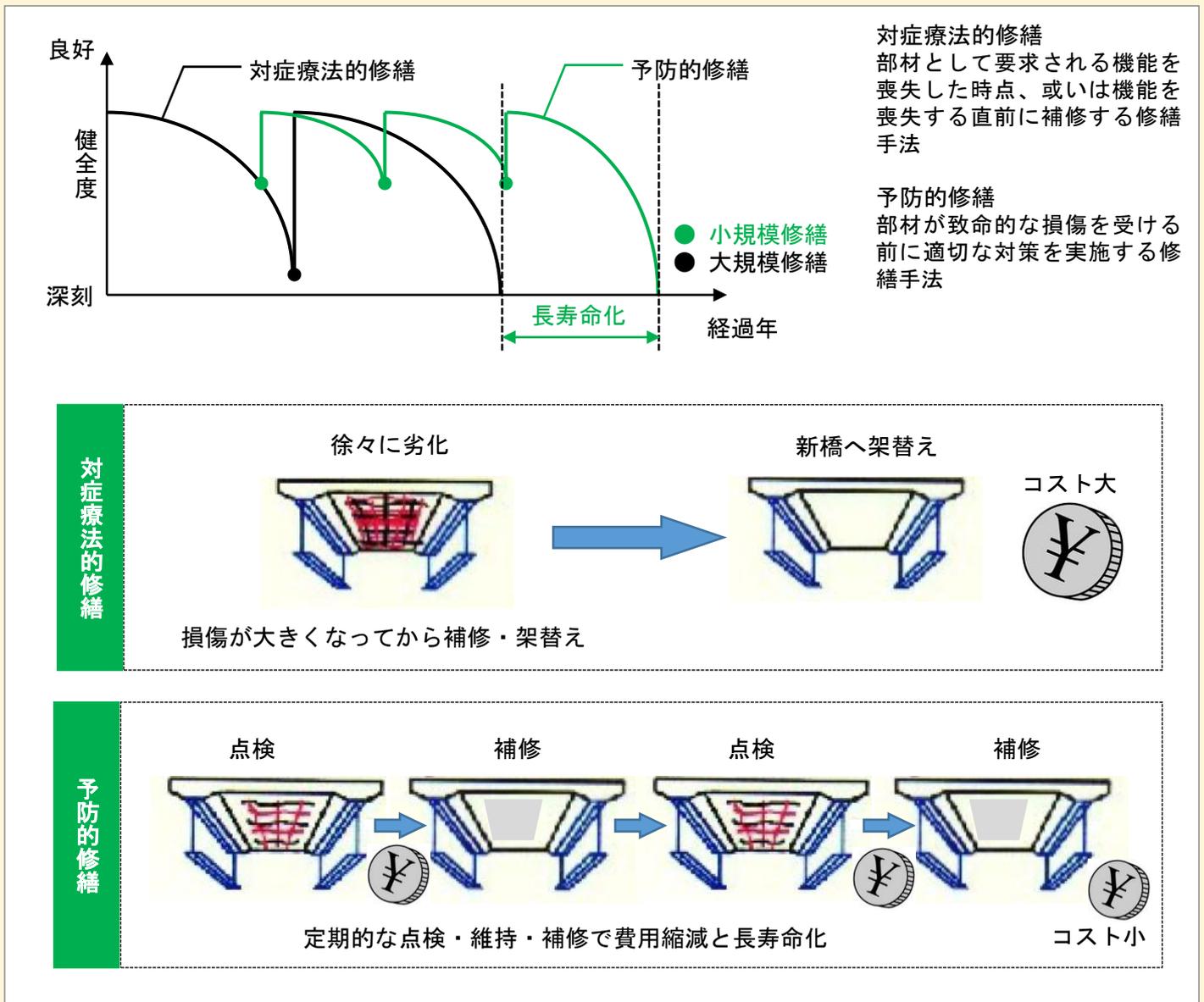
- ① **安全で円滑な交通を確保することとします**
- ② **沿道や第三者への被害の防止を図ることとします**
- ③ **効率的な維持管理を行うための記録を得ることとします**

長寿命化修繕計画に基づく対策、点検の実施、診断及び計画の見直しというマネジメントサイ

クル（PDCA サイクル）を確立し、効果的な橋梁の維持管理を継続します。



■長寿命化と費用縮減



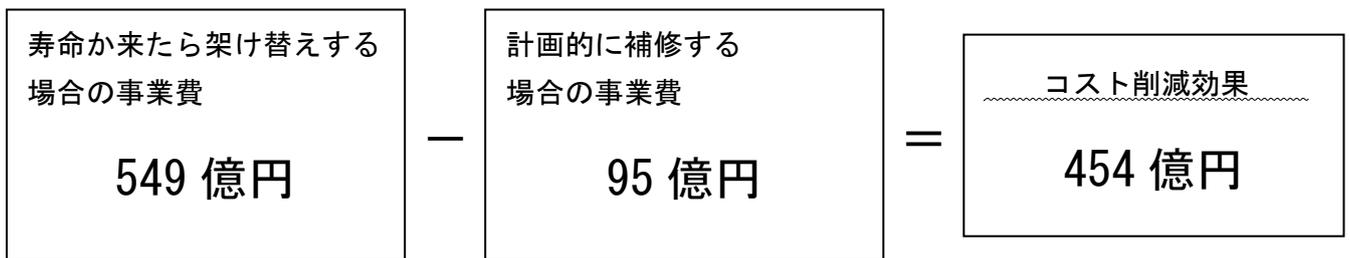
■点検と修繕

橋梁の現況を把握するため、5年ごとに定期点検を実施しています。補修工事は優先順位を考慮して考慮して順次実施しています。

優先順位は**健全性**（傷みが激しいもの）、**緊急輸送路**（市が指定する路線）、**跨線橋・跨道橋**（鉄道や道路の上に架かる橋）、**迂回路**（迂回路が無く孤立してしまう）、**橋梁の規模**（橋長が長い）を用います。

■長寿命化修繕計画による効果

68橋を計画的に管理すると、その効果は計画時の試算では、**今後50年間で約454億円の費用の節約**が可能です。



■意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

足利工業大学 建築・土木分野 土木工学コース 宮澤 伸吾 教授

■計画策定担当部署

桐生市 都市整備部 土木課 Tel. 0277-46-1111（内線 620）

本稿に示した長寿命化計画は、社会情勢や財政状況、橋梁健全性の変化、耐震性能の変化等を考慮し、計画の見直しを行うこととしています。